

御岳登山鉄道 NEWS RELEASE

御岳登山鉄道株式会社

〒198-0174 東京都青梅市御岳 2-483

TEL:0428-78-8123

FAX:0428-78-8124

26-12

2026 年 9 月 9 日

2026年9月19日(土)～10月4日(日)

御岳登山鉄道ウィーク・TOKYO MITAKE TERRACE

「観光リフトでアクセスできる展望エリアは
『TOKYO MITAKE TERRACE』エリアとして
リブランディングオープン！

京王グループの御岳登山鉄道株式会社(本社:東京都青梅市、社長:佐田貴宏)では、2026年9月19日(土)～10月4日(日)までの間、『御岳登山鉄道ウィーク』を開催いたします。このイベントは御岳山の標高が929メートルであることにちなんで9月29日を中心に多くの方に御岳山をPRさせていただくと共に、御岳山で楽しんでもらいたく、2021年にスタートしたもので、今年で6回目を迎えます。

また「御岳登山鉄道ウィーク」の開催に合わせて、これまで展望ブランコ「みたけムササビスウィング」でおなじみの「大展望台エリア」と呼称しておりましたエリアについて、都心方面の景色や雲を眼下に見下ろせるなど多くの魅力をより多くの皆さまにお楽しみいただくため、新たに「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアとしてリブランディングしオープンします。

期間中、各種イベントを開催いたします。皆さまお誘いあわせの上、ぜひこの機会に御岳山へ、そして「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアへお越しください。

「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアの概要と楽しみ方

●「TOKYO MITAKE TERRACE」とは？

御岳山観光リフト頂上には、関東平野を一望できるスポット、展望ブランコ「みたけムササビスウィング」、レンゲショウマ群生地、武蔵御嶽神社摂社の産安社など楽しいスポットがありこのエリアをこれまで大展望台と呼んでいましたが、このたび新たに「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアとしてこのたびリブランディングしてオープンし、より多くのお客様にこの魅力を体験いただきたく、新たにロゴマークも制定し、よりお客様に親しんでいただけるネーミングとしました。



「TOKYO MITAKE TERRACE」オリジナルロゴマーク

「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアの7つの常設スポットのご紹介

①観光リフト

「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアへ向かう一人で乗車できるリフトで、乗車時間2分で空中散歩をお楽しみいただけます。この観光リフトは1959年営業開始しました。現在は2人乗りリフトが主流となっておりますが、今や大変貴重な1人乗りのリフトとしてお客様からも好評をいただいております。特に下りは都心方面めがけて下る感覚が楽しいという声もいただいております。営業日は土日祝が基本でお正月、ゴールデンウィーク、8月、11月のシーズンは平日も運行します。（雨天、荒天時は運休となります）



観光リフト

②フォトスポット

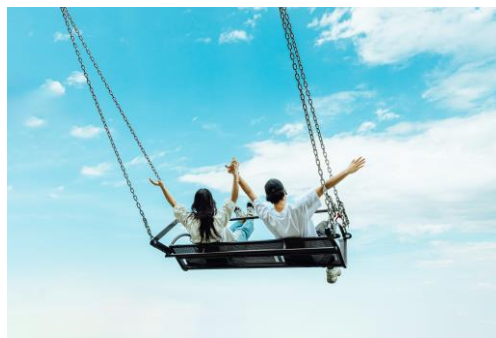
晴れていると東京スカイツリー、埼玉西武ライオンズの本拠地ベルーナドーム、筑波山などを障害物なく一望を写真に収めることが出来るフォトスポットです。



フォトスポット

③展望ブランコ「みたけムササビスウイング」

展望ブランコ「みたけムササビスウイング」、は2024年6月21日御岳山観光リフト大展望台駅前広場（標高882M）に開業しました。高さ4Mの2人乗りで、晴れていると都心の高層ビル群や東京スカイツリーなど関東平野を眼下に眺めながら大人から子供までお楽しみいただける施設です。大空へ飛び立つ感覚をより一層お楽しみいただけます。



展望ブランコ「みたけムササビスウイング」

④1階休憩スペース

1階は展望ブランコ「みたけムササビスウイング」営業時、休憩スペースとして開放しております。またバルコニーを併設しているため標高882メートルの澄んだ空気を感じながら眼下に眺望をお楽しみいただけます。またシーズン毎に展示コーナーを開設するなど休憩以外にもお楽しみいただける工夫をしております。



1F 休憩スペースとバルコニー

⑤2階イベントスペース

2階は畳敷のイベントスペースです。これまでも、ヨガ教室への貸し出し、企業研修、写真展などを催行してきました。今後もレンタルスペースとして貸し出し利用を検討しております。ご関心がございましたらぜひお気軽にお問合せ下さい。



2F イベントスペース

⑥武蔵御嶽神社の摂社パワースポット

「産安社(うぶやすしゃ)」

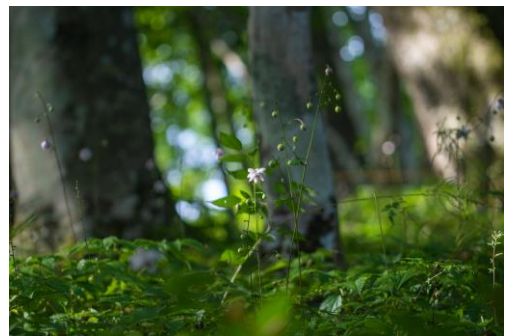
安産・良縁・長寿・健康の神様が祀られています。また付近には安産杉、子授け杉、夫婦杉などの名木もありパワースポットとしても人気のある場所です。2026 年 4 月には御岳山観光協会により観光リフトを下りてから直接産安社へ続く道が新たに整備されました。



産安社

⑦レンゲショウマ群生地

ケーブルカー御岳山駅より徒歩 5 分の富士峰園地、北斜面に数万株のレンゲショウマが群生しています。8 月中旬から 9 月にかけて淡い紫色の可憐な花を咲かせます。キンポウゲ科の多年草で細長い花茎を伸ばし約 3～4 センチの花を下向きに付けます。名前の由来は花を下から見上げるとハス（蓮）の花に、葉がサラシナショウマ（晒菜升麻）に似ているので、レンゲショウマ（蓮華升麻）と付けられたといわれています。またレンゲショウマ開花時期以外にも静かな木陰を楽しめる遊歩道として皆さまにお楽しみいただいています。



レンゲショウマ群生地

●「御岳登山鉄道ウィーク」期間中のイベント内容のご紹介

1. オリジナルヘッドマークで運行

「TOKYO MITAKE TERRACE」リブランディングオープン特別ヘッドマークを装着して運行します。

①掲出期間：2026年9月24日（木）～2026年12月13日（日）

※イベントは10月4日（日）で終了となりますが、ヘッドマークの掲出は12月13日（日）まで延長して掲出します。

②掲出方法：御岳山ケーブルカー「武蔵号」「御嶽号」のそれぞれ2種類掲出



武蔵号のデザイン



御嶽号のデザイン

2. 「TOKYO MITAKE TERRACE」エリアを巡るスタンプラリーを開催します

滝本駅・御岳山駅と「TOKYO MITAKE TERRACE」エリア内3か所、計5か所のスタンプを集めて、滝本駅売店で税込1,000円以上お買い上げのお客様に先着100名の方にオリジナルクリアファイルをプレゼントします。

①開催日：2026年9月19日（土）～10月4日（日）の土休日と24日（木）・25日（金）

②スタンプ用紙配布場所：滝本駅

③スタンプ設置場所：

滝本駅、御岳山駅、「TOKYO MITAKE TERRACE」エリア3か所（展望プランコ「みたけムササビスウィング」、1F休憩スペース、2Fイベントスペース）の計5か所

④景品のオリジナルクリアファイル交換場所：滝本駅売店

※スタンプ用紙、景品については、数に限りがございます。スタンプ用紙、景品が無くなり次第、終了となります。予めご了承ください。

※スタンプ用紙はお一人様1枚でお願いいたします。

※荒天、雨天時は中止となります。

3. 9月29日(火)昔使用していた鉄道ハサミを使用して改札を行います

9月29日は御岳山の標高929メートルにちなんで「御岳山の日」、この日限定で改札係員は乗車券の検札用に昔使用していた鉄道ハサミを使用します。また御岳山駅では駅員が手作りした乗車券風の厚紙を使用して鉄道ハサミ体験コーナーもあります。

【鉄道ハサミ体験コーナー】

①開催日と時間：9月29日（火）9：30～15：30

②開催場所：御岳山駅

※駅員が鉄道ハサミを使用して改札を行う時間も同上とさせていただきます。

4. お子様を楽しめる！展示コーナーを設営します

1階休憩スペースにおいて、お子様を楽しめる展示コーナーを設営します。ケーブルカーのロープ、プーリー、実際に使用しているヘッドマークの展示、御岳山に纏わる簡単なクイズコーナー、また御岳ビジターセンター協力のもと、御岳山の自然をテーマとした展示コーナーもあります。

①開催日：2026年9月19日（土）～10月4日（日）の土休日と9月24日（木）・25日（金）

②開館時間：9：00～15：45

※荒天、雨天時は中止となります。

5. 大人が楽しめる！展示を見ながら、関東平野を一望しながら、心地よい風にあたりながら地ビールを飲むことができます

2階イベントスペースでは青梅市吉川英治記念館（※次ページで詳細を記載）の紹介コーナーを設置と共に、福生「多摩自慢」多摩の恵地ビールの販売を行います。（地ビールをその場で飲むことができます。）紹介コーナーでは青梅市吉川英治記念館の魅力を紹介するパネルをはじめ、吉川英治がこの地で過ごした当時を伺える写真や、自由に読書を楽しめる吉川英治の閲覧用の文庫本も配架します。

また、お子様などが楽しめる昔遊びの玩具も設置いたします。

ご家族そろって畳の上でくつろぎながら憩いの時間をお過ごしください。

①開催日：2026年9月19日（土）～10月4日（日）の土休日と9月24日（木）・25日（金）

②開館時間：10：00～15：45

※荒天、雨天時は中止となります。



多摩の恵地ビール

青梅市吉川英治記念館 Yoshikawa Eiji Memorial Museum とは

「宮本武蔵」や「私本太平記」、「新・平家物語」など、歴史小説で国民的作家として知られる吉川英治が戦時中この地へ移り住み、9年5カ月住んだ場所に建てられました。

記念館では吉川英治が実際に住まいとした主屋、書斎として執筆活動をした洋館の様子や、直筆原稿等を展示している展示館をご覧になることができます。

東京都青梅市柚木町1丁目 101-1

【TEL】0428-74-9477

【開館時間】10:00～17:00 （入館は16:30まで）

【休館日】毎週月曜日 *祝休日の場合は翌平日

年末年始（12/29～1/3）

*その他、臨時休館日あり（詳しくはお問い合わせください）

【アクセス】

- ・JR 青梅線「二俣尾駅」より徒歩15分
 - ・または JR 青梅線「青梅駅」より都営バス「吉野」行き乗車
→「柚木」停留所下車徒歩1分
- ホームページ <https://ome-yoshikawaeiji.net/>



吉川英治記念館外観

●お問合せ

御岳登山鉄道(株) TEL 0428-78-8121（9:00～17:00）

以上

このニュースについてのお問い合わせ・取材申し込み・画像のご提供は、
御岳登山鉄道株式会社

【☎ 0428-78-8123 山本】までお願い致します。

このニュースは下記のところに配布しています。

●市政記者クラブ（立川） ●新聞社支局（立川・八王子・青梅・福生）